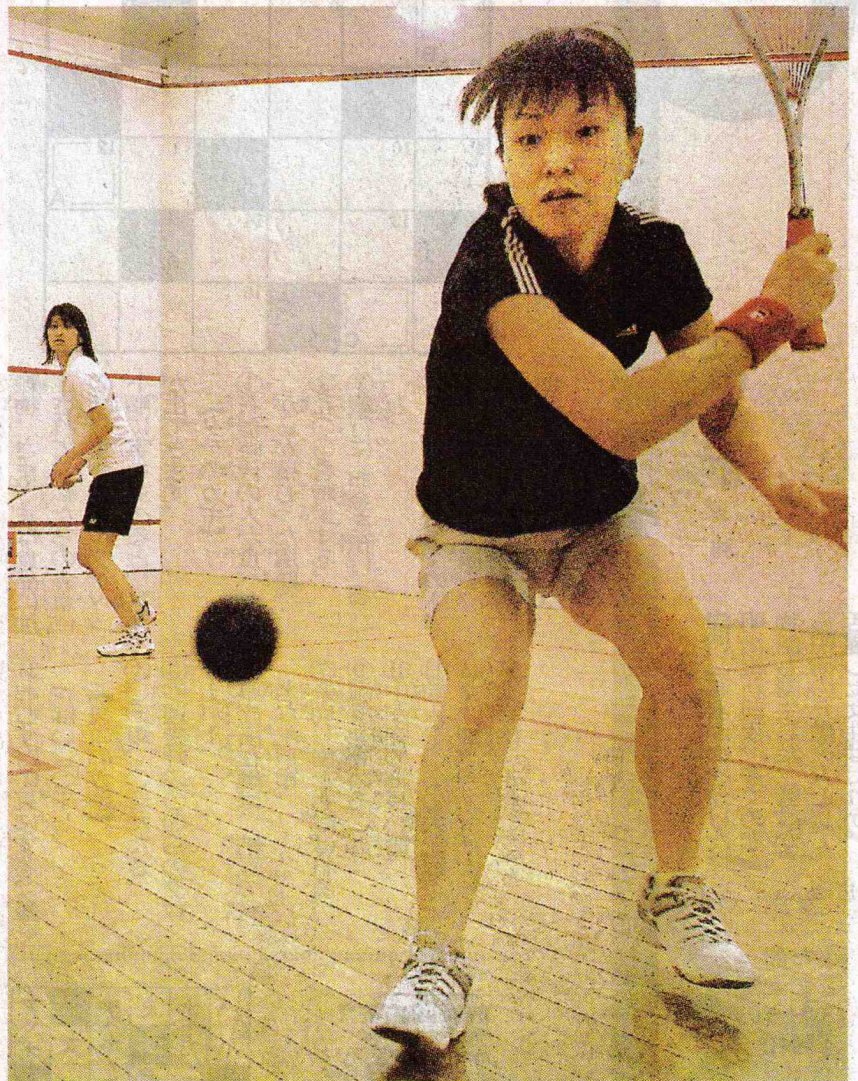


# 変幻自在ラリー熱く

## スカッシュ京都杯



後方の壁に当たったボールも打ち返せます

## 選手107人快汗

第4回スカッシュ京都カップ2008が24、25の両日、京都市左京区のエル・スポーツ京都で開かれ、小学5年の児童から65歳までの愛好者107人が参加しました。

スカッシュは英国で生まれました。直径4センチの柔らかいゴム製のボールを2人で打ち合います。相手がボールが2回バウンドする前に打ち返せなかった時に自分の得点になります。横や後方の壁も使えます。

京都には約250人の愛好者がいます。

ます。回を重ねることに参加者は増え続けています。男女別にAグレード、Bグレード、新人、マスターズの4つのカテゴリーで行われました。マスターズは社会人だけが参加でき、今回初めて設定されました。社会人に試合経験を積んでもいい、入賞するチャンスを広げるためです。スカッシュは運動量が相当多い室内スポーツです。出場選手らは汗びっしょりになりながらプレーを楽しんでいました。

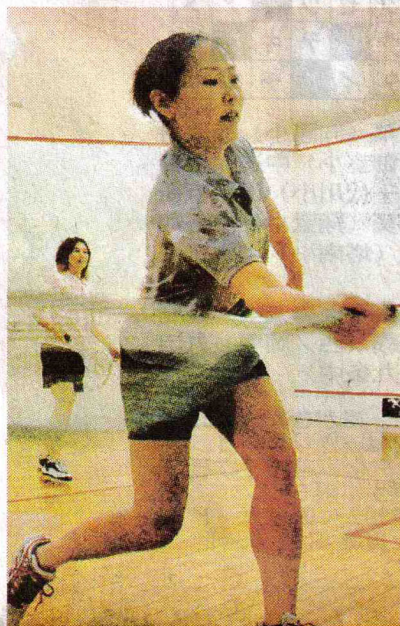
- 【男子】▽A ①梶田星仁(立命大)②川畑(Squashya)③深江(立命大)阿部(立命大)▽B ①松井諭(エル・スポーツ京都)②芝田(立命大)③本郷(Team AVID)井貝(立命大)▽新人 ①中川航(立命大)②山根(立命大)③清住(立命大)勝又(立命大)▽マスターズ ①梅林信彦(エル・スポーツ京都)②吉水(Team AVID)③岩井(スカッシュマジック)梅景(Team AVID)

○…女子Aグレードとマスターズに出場した宇治市の竹岡香さん(38)は「プライベートタイムはスカッシュ中心です」と言います。京都テルサで週2回、スクールのあるエル・スポーツ京都で週1回、仕事を終えた夜間にスカッシュをしています。体力づくりに時間があればジョギングなどのトレーニングにも努めています。

### Aグレードで入賞を

「すごく汗をかくので、それが気持ちいい。壮快感とダイエットにもいいと思います。練習でも試合でも、勝ち負けよりもボールを打つのが楽しい。でも、勝ちたいですね。まずAグレードで入賞したい」と意欲を燃やしていました。

スカッシュの仲間は年代の幅が広いと言います。「スカッシュの話ばかりでなく、いろいろな人とコミュニケーションを楽しんでいます」



スカッシュは運動量の多いゲームです

○…下京区の星野弘喜さん(39)は2005年11月、南区のスポーツジムで体験して、始めました。「テニスをしていた経験があるので、はまるだろうなどの予感がありました」と笑います。「スカッシュは激しい運動で、始めたころはすぐ疲れました。コーチに肺活量が少ないので鍛えるよう勧められ、苦手だった水泳を始めました。動けるよう

### 運動楽しくなった

になったら今度は足が疲れるようになり、マラソンを始めました」という。水泳は25センチ泳げなかったのに、100センチ泳げるようになりました。記録会にも出場しました。マラソンは昨秋の福知山で完走を果たしました。「スカッシュを始めて、スポーツそのものが楽しく感じられるようになりました。水泳もマラソンも楽しんで取り組んでいます」

- 【女子】▽A ①高安ア③清水(エル・スポーツ)▽マスターズ ①河寛子(立命大)②中元(エル・スポーツ京都)③儀波田(立命大)▽新人 ①藤田真友子(Team AVID)②有野(Team AVID)③中元(エル・スポーツ京都)川崎ル・スポーツ(ジュリア)▽B ②金本(立命大)③植田(ジュリア)④吉羽(エル・スポーツ京都)